

平成 29 年度事業「第 31 回北方領土返還要求運動関東甲信越青少年交流会」 及び「平成 29 年度関東甲信越北方領土問題教育指導者地域研修会」実施報告

1 概要・目的

本事業は、独立行政法人北方領土問題対策協会と関東甲信越ブロック北方領土返還要求運動都・県民会議連絡協議会の共催で、関東甲信越ブロック協議会の各都県メンバーが毎年持ち回りで主管として開催しており、今年度は東京都の北方領土の返還を求める都民会議主管で実施。

(1) 青少年交流会

関東甲信越ブロック内の各都県と北海道根室管内の中学生が一堂に集い、友情と連帯の和を広げながら、次代を担う青少年に北方領土問題の理解と関心を深めてもらうことを目的として実施している。

(2) 教育指導者地域研修会

関東甲信越ブロック内の各都県の教育指導者等が、中学生等に対する北方領土に関する授業の展開方法等について情報交換及び意見交換を行うことにより、更なる北方領土教育の充実・強化を図ることを目的として実施している。

2 実施時期

平成 29 年 7 月 29 日（土）～ 30 日（日） 1泊2日

3 実施場所

晴海グランドホテル（中央区晴海 3-8-1）

4 実施日程

7月29日 (土)	集合・受付・昼食（11：30～13：00）	
	全体学習会（13：00～14：45）	
	○北方領土問題 DVD 鑑賞 ○根室管内中学生意見発表 ○北方領土学習 根室管内高校生出前講座	
	青少年交流会（15：00～17：25）	教育指導者地域研修会
	○北方領土の語り部の講話 ○DVD 鑑賞「北方領土に関する全国スピーチコンテスト」 ○グループワーク ① ワークシート作成 ② グループ討論 ③ グループまとめ (メッセージ、標語・キャッチコピー作成) ○グループ発表・講評	【第一部】（15：00～17：25） ○主催者挨拶 ○根室高等学校教諭の講話 ※会場移動 ○グループワーク参観 【第二部】（20：30～21：00） (※全体交流会後に実施) ○意見交換
全体交流会（北方領土寄席 三遊亭 金八）（19：30～20：30）		

7月30日 (日)	視察 (8:45~12:30)
	○東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会選手村・会場予定地、豊洲新市場予定地 (車窓見学)
	○シンボルプロムナード公園 (自由の女神付近で記念撮影)
	○日本科学未来館
	○水上バス (お台場海浜公園~日の出栈橋)
	昼食・解散 (12:30~14:10)

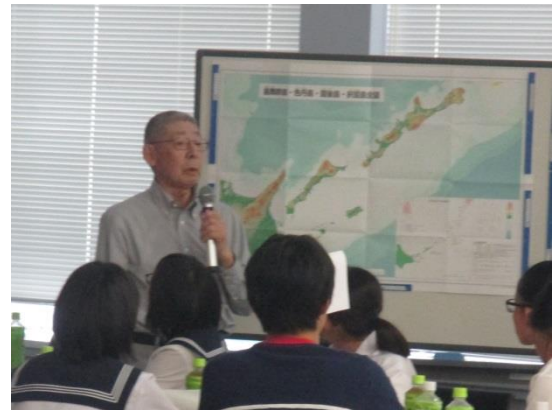
5 参加者

所 属	人数
関東甲信越ブロック内の各県参加者 (中学生 26 名、引率 14 名)	40
北海道根室管内参加者 (中学生 7 名、引率者 1 名)	8
東京都内参加者 (中学生 19 名、引率者 5 名、教育委員会 1 名)	25
来賓 (内閣府・北対協)	3
東京都 (外務部長、教育庁)	2
北方領土の返還を求める都民会議 (会長、事務局長、他 7 名)	9
北方領土の返還を求める都民会議教育者会議 (座長、他 5 名)	6
北方領土の返還を求める都民会議会員 (小学生・保護者) ※オブザーバー	3
合計 (中学生 52 名、引率・来賓・事務局等 44 名)	96

6 青少年交流会・教育指導者地域研修会の様子



根室市内高校生の出前講座



北方領土の語り部の講話 (山本 昭平さん)



教育指導者地域研修会



全体交流会 北方領土寄席(三遊亭 金八 師匠)

7 青少年交流会グループワーク発表作品

グループ・グループ名	標語・キャッチコピー	グループからのメッセージ
A エスカロップ	他人に任せず自分から	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りたい人の想いを大切に ・再び故郷の地をふめるように ・お互いに理解し早期解決を ・少しでも多くの人へ伝えよう
B ねむど	関係のない事だと思わないで！	<ul style="list-style-type: none"> ・返還運動への強い決意をもつ ・北方領土問題は国民1人1人の問題 ・日本もロシア人も同じ人間 ・思い・記憶・知識をつないでいってほしい
C かに・イク・夕張メロン！	知ろう理解を行動に	<ul style="list-style-type: none"> ・ビザなし交流 ・知っている事を周りの人と共有し、おたがいの考えについて話し合う ・ロシア人との交流 ・色々な条約のこと ・元島民の思いを考える ・周りの人に北方領土のことを話す ・北方領土について小さなことでも知ってみる ・署名活動
D シマエビ	もつ・つなぐ・理解することからやっ ていこう！！	<ul style="list-style-type: none"> ・元島民の思いを受けつごう ・返還を実現させよう ・元島民の問題への関心をもとう ・無力ではないから行動しよう
E 根室ロール隊	敵ではなく仲間	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人に北方領土について知ってもらう ・北方領土を奪われた人々の悲しみを忘れない ・将来を支えるのが若者 ・自分ができるところを行っていくのが大切
F 海鮮親子丼	近づこう 島民の考え 近づこう 北方領土 近づこう 早期解決	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に感じる ・歩みよる ・高齢化 ・若者の力 ・ロシアとの交流 ・考動 ・若い人(自分達)が関心を持ち、積極的に関わる ・国が歩みよることが大事 ・理解し合う ・情報発信、共有 ・北方領土の認知度 ・現状を知る ・日本の領土であることを忘れてはいけない
G いくら丼	あなたは知っていますか？北方領土	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史を正しく理解する ・島民の思いを受け継ぐ ・一人一人が関心を持って行動に移す ・ロシア側にも耳をかたむける

8 青少年交流会参加者のグループワークの感想

- 各班とも、工夫をこらした発表をしていて、また、自分の班とは違った意見を聞くことができ、おもしろかったし勉強になりました。今回のような活動が、北方領土問題解決への第一歩になるのかな、と多くの班の意見を聞いて気づくことができました。(埼玉県)
- 個人ではできないグループ活動の中で、普段感じるができない楽しさを体感することができ、とてもいい体験になりました。今後機会があればもっと参加したいです。(東京都)
- どのグループの意見を聞いても、今日この場に来るまでは北方領土問題について、あまり考えてこなかったとは考えられないほど素晴らしいものになっているなどと思った。そして各グループの話聞き、今日この場で学んだことを周りの人に伝えていこうと思った。(群馬県)
- 一斑一斑みんな違うキャッチフレーズで、似ているものがなかった。でも、北方領土をみんなに広めたいという思いは一緒だった。発表する時にはみんなの目がキラキラしていてひとりひとりの思いがすごい伝わるものだった。どれもいいものだった。(千葉県)
- 朝までは、北方領土について全く知らず、興味も持っていなかったけど、今では、班のみんなと協力すれば発表ができるほど詳しくなったのを実感しました。お昼、会ったばかりとは全然違い、笑って話せるくらいまでなれたので良かったです。(山梨県)
- 自分の意見や考えだけでなく、普段聞けない他県の人考えを聞いて、「ああ、こんな考えもあるんだな」と、新しい発見があって良い経験になりました。他県の学生さんたちが、北方領土についてどう思っているのかが知れて、こういうことが問題解決に近づききっかけになるのかな、と思いました。(北海道根室管内)
- 協力して話し合うことで、北方領土に対する考えを深めることができました。この経験を生かして実行することが大切だと思いました。(茨城県)
- 他のグループからは、私たちがグループワークをやった意見とは違う発表も聞いて、良い学習になりました。もっと北方領土について調べてみたいと思いました。(栃木県)
- 今日学んだことは、みんなに広める「情報発信者」へと自ら積極的になって、多くの人々に北方領土問題の現状を伝えたいと思う。一人一人、1グループ1グループの考えが違い、聞いていて楽しかった。(神奈川県)
- 班ごとで、とてもいいキャッチフレーズですごいと思った。こうやって今を生きる若者が、真剣に北方領土について考えることで解決を早めると思った。今回発表したことをまわりの身近な人に伝えて、1人でも多くこの問題に取り組み、1日でも早い返還を。これを目標にしていきたいです。(新潟県)
- 最初は、北方領土の事をあまり理解していないし、見ず知らずの中学生という関係から始まったけど、話をしたり、DVDを見たりして班の仲を深めながら、北方領土の現状について理解を深めて、自分達の意見を全員でまとめられたから良かったと思う。(長野県)